

燃料電池発電設備概要表

項 目		良	否
設備種別	低圧発電 高圧発電		
機器種別	固体高分子型 リン酸型 溶融炭酸塩型 固体酸化物型 その他_____		
工事種別	新設 増設 全部改設 一部改設 移設 改修 増改設 その他		
設置場所(階)	_____階 屋上 屋外		
電 圧	105 210 415 6,600 その他_____V		
出 力	_____kW		
キュービクル該否	該当 非該当		
非常電源該否	非常電源該当 非常電源非該当 容量計算書の添付(有 無)		
熱 源 区 分	灯油 重油 その他の液体燃料_____ 都市ガス LPガス その他の気体燃料_____		
保 守 管 理	非該当 自家 委託 その他		
設 置 室	構造 壁(耐火 準耐火 不燃) 天井(耐火 準耐火 不燃) 開口部(防火戸 特定防火設備である防火戸) 換 気 { 自然換気(FD付) 機械換気(ダクト FD付 耐火被覆) } ケーブル等の貫通部(大臣認定 不燃区画 その他_____) 室面積 _____m <sup>2</sup>		
電 気 方 式	発電専用 発電+熱供給 その他発電		
安 全 措 置	対震装置(無 有) 型式番号_____ 設置位置(本体 室内) 製造会社_____ 自動停止(改質器温度異常 換気装置異常) 炎検知装置 立ち消え安全装置 空だき防止装置 自動温度調節装置 過熱防止装置 停電時安全装置 自動ガス遮断装置 その他_____		
燃 料 配 管	材質(鋼管 銅管 その他) 配管方法(露出 埋設 隠ぺい)		
燃 料 タ ン ク	容量_____L 材質(鋼板 その他_____) 板厚____mm 固定方法(ボルト固定 溶接 その他) 本体からの水平距離_____m		
排 気 筒	貫通部の構造[遮熱材料(無 有) その他_____]		
燃 焼 空 気 取 入 口 等	給気口面積(_____cm <sup>2</sup> ) 給気口位置(床面から_____cm) 給気ファン(給気量_____m <sup>3</sup> /h) 給気ファンの位置(床面から_____cm)		
耐 震 措 置	耐震クラス S A B アンカーボルト_____x_____本		
消 火 設 備	消火器 大型消火器 スプリンクラー 水噴霧 泡消火 CO <sub>2</sub> ハロン 粉末 IG-55 IG-541 窒素 HFC-227ea HFC-23 その他_____		
警 報 設 備	自動火災報知設備 非常ベル 放送設備 ガス漏れ警報設備 その他_____		
そ の 他	非常電源の認定番号_____ 製造者名_____		

- 備考 1 項目中、□欄は該当するものに✓印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。  
 2 良否欄は、記入しないこと。  
 3 火災予防条例(昭和37年東京都条例第65号)第8条の3の区画ごとに作成すること。  
 4 キュービクルは、「キュービクル式変電設備等の基準」(昭和50年10月東京消防庁告示第11号)に適合したものを該当とする。